

2023年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023年 4月～2024年 3月)



株式会社 丸 美 佐 藤 組

作成日: 2024年 8月 23日

株式会社丸美佐藤組環境経営方針

〈環境理念〉

株式会社丸美佐藤組は、「住みよい郷土づくりに貢献すること、技術と信頼の追求と地域に密着した企業経営を目指し、従業員一丸となり力を合わせてすべての災害を防止し安全で明るい職場を築く」の企業理念にもとづき、深刻化する環境問題に向き合いより積極的に全社一丸となって取り組むとともに、環境経営の継続的改善を推進していきます。

〈環境保全への行動指針〉

1. 建設機械等の燃料使用量の削減に努め、二酸化炭素の排出削減を推進します。
 - ・環境に配慮した工法・施工の推進に努めます。
 - ・低騒音・低排出ガス仕様の機械の使用を推進します。
 - ・エネルギーの効率的な使用に努めます
2. 廃棄物の削減と建設副産物のリサイクル活動の推進をします。
3. 働きやすい職場環境の創生に努め、その一環として有給休暇の消化率UPを推進します。
4. 技術の継承、従業員の教育等により生産性と品質向上に努めます。
5. 地域との環境活動に努めます。
6. 関係する環境関連法規制等を遵守します。
7. 節水に努めます。
8. 全社員に環境経営方針を周知し、社員教育を重ね意識及び能力の向上を図ります。
9. 環境経営レポートを広く一般に公開します。

制定日： 2018年 7月 1日

改定日： 2021年 10月 1日 第3版

株式会社 丸 美 佐 藤 組

代表取締役 佐藤 善一

I. 組織の概要

1. 名称及び代表者名

株式会社 丸 美 佐 藤 組

代表取締役 佐藤 善一

2. 所在地(従業員数、建屋延べ面積)

本社 青森県青森市けやき1丁目2番8号 25名、 152. 28m2

資材置場 青森県青森市八幡林字品川22地内

3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 工事部 對馬 等 TEL 017-726-2256

環境担当者 総務部 佐藤 梅子 TEL 017-726-2256

4. 事業活動の内容

土木一式工事業、とび・土工・コンクリート工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、
解体工事業

5. 事業規模

資本金 2, 000万円

売上高 6億9844万円(令和5年度)

従業員数 25人

6. 事業年度

1月～12月まで

7. 認証登録の対象範囲

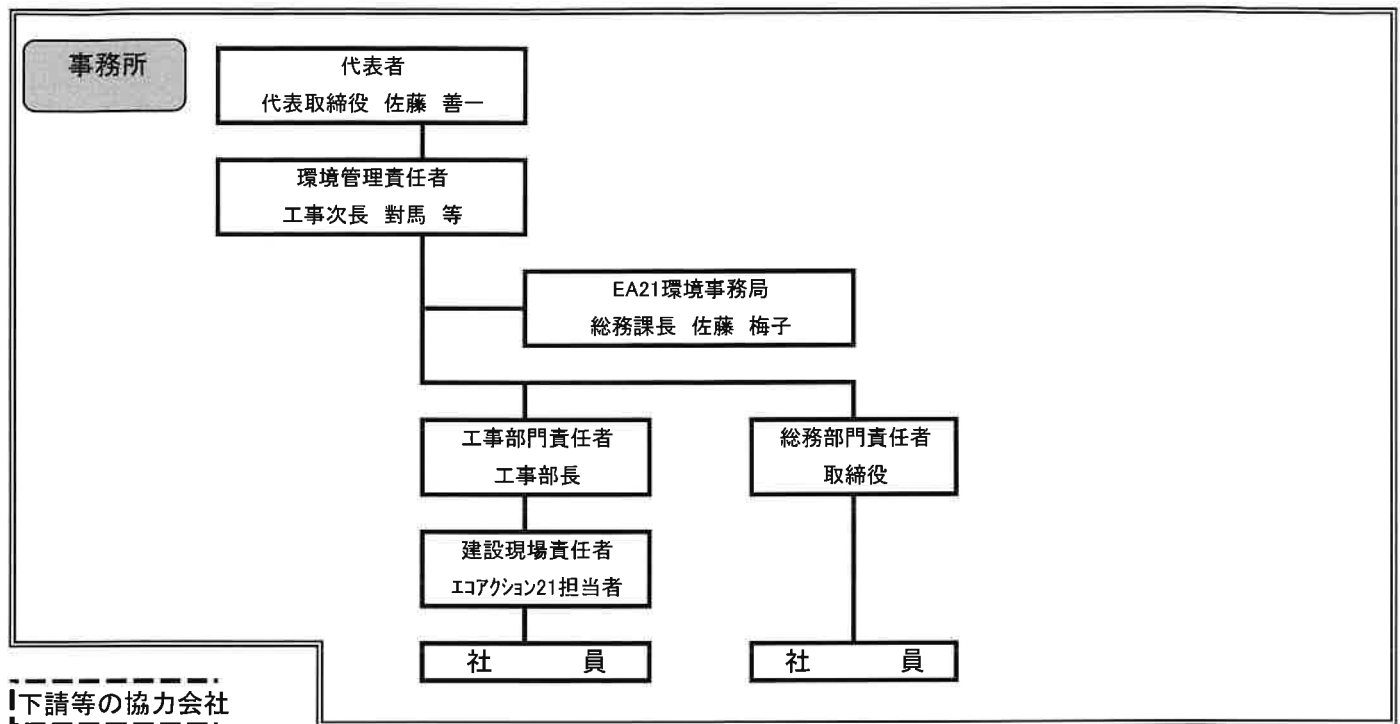
全サイト、全組織、全活動

8. 取組の対象期間

令和 5年 4月～令和 6年 3月

Ⅱ 株式会社丸美佐藤組 EA21実施体制図 (2023年度)

株式会社 丸 美 佐 藤 組



環境経営システム 役割・責任・権限表

職名(氏名)	役割・責任・権限
代表者 代表取締役 佐藤 善一	・環境経営に関する統括責任。 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命など実施体制の構築 ・全体の評価と見直しと指示 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 工事部 對馬 等	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・問題点の是正、予防処置の指示・確認。 ・環境活動の取組状況を代表者への報告
環境事務局 総務部 佐藤 梅子	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成。 ・環境活動チェック表等の実績集計。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者 工事部 総務部	・所管事項について環境経営システムを実施し、維持する。 ・環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・環境方針の部内への周知。 ・教育訓練の実施 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施。
建設現場責任者(エコアクション担当者)	・新規入場者教育の実施 ・作業(協力業者含む)エコアクション活動協力依頼 ・緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練の実施、記録の作成。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

Ⅲ. 環境目標とその実績

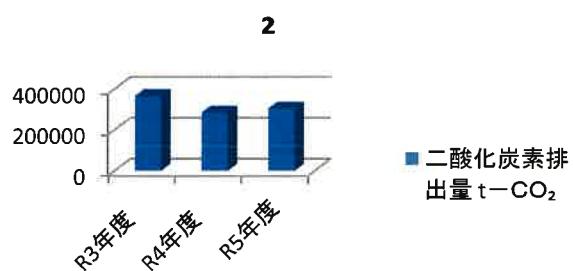
1. 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

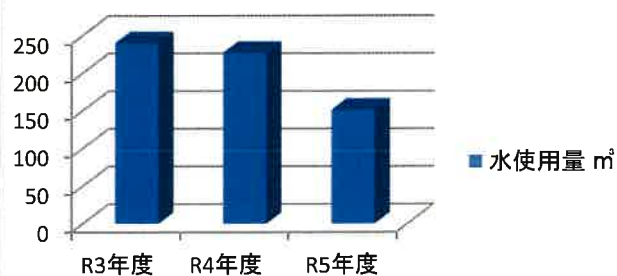
項目	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	364764	283029	303855
産業廃棄物排出量(自社分)	t	332	2925	1086
水使用量	m ³	240	227	151

(注)二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.548kg-CO₂/KWhです。

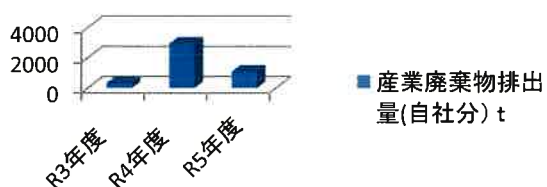
二酸化炭素排出量 t-CO₂



水使用量 m³



産業廃棄物排出量(自社分) t



2.環境経営目標設定書(2023年度～ 2025年度)

制定日: 2022年 4月 26日

改定日: 2023年 4月 26日

会社名: 株式会社 丸 美 佐 藤 組

環境経営方針	環境経営目標項目	削減率又は 増加率(%) 単位	基準年度 基準値	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率)		
				2023年度	2024年度	2025年度
省エネルギーの 推進	電力の削減	削減率(%) kwh	2022年度 21,007	1 20,797	2 20,587	3 20,377
	灯油の削減	削減率(%) L	2022年度 3,310	1 3,277	2 3,244	3 3,211
	LPGの削減	削減率(%) kg	2022年度 10.5	1 10.4	1 10.4	1 10.4
	ガソリンの削減	削減率(%) L	2022年度 21,180	1 20,968	2 20,756	3 20,545
	軽油の削減	削減率(%) L	2022年度 82,987	1 82,157	2 81,327	3 80,497
	二酸化炭素排出量の 削減	削減率(%) kgCO ₂	2022年度 283,029	278,369	275,557	272,746
節水の推進	水使用量の削減	削減率(%) m3	2022年度 227	2 222	2 222	2 222
廃棄物の削減	一般廃棄物排出量の 削減	削減率(%) kg	2022年度 335	1 332	1 328	1 325
建設副産物のリサイクル 活動の推進	再資源化率の増加	再資源化率 (%)	2022年度 99.4	97	97	97
働きやすい職場 環境の創生	有給休暇の活用推進	消化率 (%)	2022年度 64	70	71	72
地域貢献活動の 推進	清掃活動等	件数	3	3	5	5

・化学物質の使用実績はありません。

・購入電力の排出係数は、R5.12.22環境省・経済産業省公表 R6.7.10一部追加更新東北電力㈱の調整後排出係数

0.46

1、環境目標は、毎年見直すとともに、事業活動に大きな変更があった場合は、速やかに改定する。

2、負荷の自己チェックで環境影響が大きいと判断した項目はすべて目標を設定する。

3、コア指標の二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量は目標設定の必須項目とする。

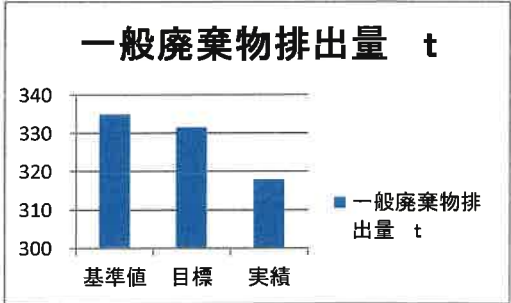
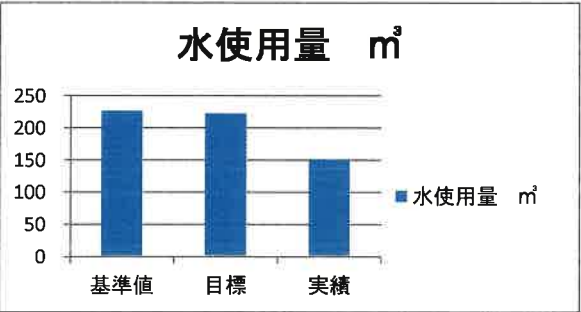
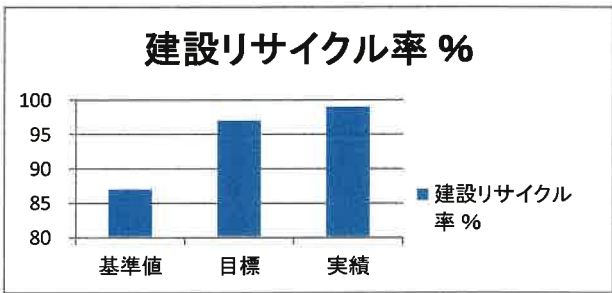
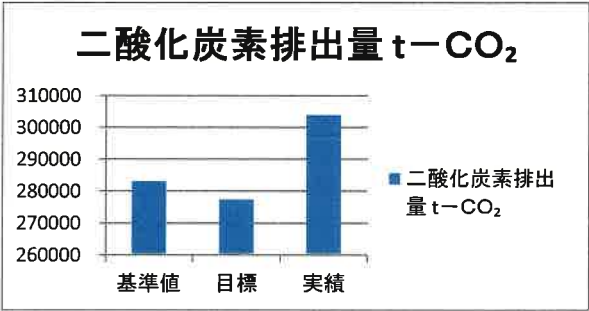
4、この書類は、環境事務局で保管する。また、全従業員へ伝達する。

3. 環境目標の実績

電気使用量については、昨年に続き猛暑であったため4-9月累計の電力量は昨年の12%upの数値となりました。11-3月は降雪量も少なく暖かい冬となり、ストーブの使用頻度が減少し前年の85%と削減につながり、累計で前年比94%となりました。灯油が昨年の14%UPとなってしまいました。燃料については、除排雪の排雪作業回数が前年より少なく対応できたが、遠方の現場の重機稼働率が高く累計で軽油が前年の107%、ガソリンが前年の114%と大幅に増加しています。有給休暇の消化率は昨年度は64%の消化率、今年度は66%の実績となり目標は達成できました。

表3-1 当該年度の環境目標の達成状況等(全社)

項目	単位	基準値 (2022年度)	2023年度			環境目標の 達成状況
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
1. 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	283029	2%削減	277368	303855	未達成
電力使用量	KWh	21007	2%削減	20587	19884	達成
灯油使用量	L	3310	2%削減	3244	3786	未達成
LPG使用量	kg	10.5	1%削減	10.4	6.3	達成
ガソリン使用量	L	21180	2%削減	20756	24130	未達成
軽油使用量	L	82987	2%削減	81327	88867	未達成
2. 一般廃棄物排出量	t(kg)	335	1%削減	332	318	達成
3. 建設リサイクル率	%	87	—	97	99	達成
4. 水使用量(水資源投入量)	m ³	227	2%削減	222	151	達成
5. 働き方改革 働きやすい職場環境 (有給休暇の消化率)	%	64	1%増	65	66	達成
6. 地域貢献活動	件数	3	—	3	3	達成



IV. 環境経営計画

環境経営方針	環境経営目標項目	取 組 内 容	実施状況の評価		次年度の取組み内容
省エネルギーの推進	電力の削減	①ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯している	○	各項目別に実施されているが、今年度は暖かい冬だったので暖房器具の稼働が少なく削減につながっている	継続
		②事務室の照明はLEDを採用し、更に部分照明を実行している	○		
		③パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にしている	○		
		④夜間、休日は、パソコン、プリンターなどの主電源は切っている	○		
		⑤便座の蓋をすることによる待機電力カットをしている。	○		
	ガソリン・軽油の削減	①建設機械等の作業は、過剰な負荷を掛けないようにしている	○	各項目別に実施されているが、除排雪の排雪作業回数が前年より少なく対応できたため改善となったが、遠方の現場の重機稼働率が高く削減に至らなかった	継続
		②建設機械等の作業を停止するときは、エンジンを停止している	○		
		③建設機械等は、定期的自主点検の他、施工開始時等に点検を実行している	○		
		④建設機械等の過積載が行われないよう徹底している	○		
		⑤エコドライブの励行のため定期的に声かけを行っている	○		
	灯油の削減	①エアコン温度の適温化(夏27℃程度)を徹底している	○	各項目別に実施されているが、現場での使用頻度が多くなり削減につながらなかった	継続
		②夏季におけるクールビズによる服装の工夫をして、エアコンの使用を抑える	○		
		③ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調節している	○		
	水使用量の削減	①手洗い時や洗い物においては、日常的に節水を励行している	○	各項目別に実施されている。大幅な削減に結びついている	継続
		②水道配管からの漏水がないか定期的に点検・確認している	○		
		③建設機械等を洗車する場合は、泥等を落としてから行っている	○		
		④作業方法を見直し、水質汚濁の少ない方法に変更している	△		
建設副産物の再資源化の推進	廃棄物の発生抑制	①裏紙を使用し、ごみの発生を抑制し、紙類の廃棄物の削減に努める	○	実施されている	継続
		②OA機器等の故障時には、修理可能かどうかチェックし、可能な限り修理することで長期使用に努めている	○		
		③施工温度の影響による品質劣化を防ぐため温度管理を徹底している	△		
	リサイクルの促進	①紙、金属缶、ガラス瓶、プラスチック、電池等について、分別ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している	○	実施されている	継続
		②資源ごみがリサイクルされるよう委託業者等に対して確認している	△		
	産業廃棄物等の適正処理	①廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行っている ②発生する廃棄物混合廃棄物を分解等して分別し、リユース、リサイクルしている	○ ○	実施されている	継続
働きやすい職場環境		①有給休暇活用の推奨	○	実施されている	継続
		②有給休暇の計画的付与	○		
地域貢献活動の推進		①排出者等に対して情報提供や啓発活動を行っている	○	実施されている	継続
		②事務所等周辺の景観や生物多様性保全に取り組んでいる	○		
		③地域のボランティア活動等に参加し、協力や支援を行っている	○		
		④高校生のインターシップの受け入れを実施している。	○		

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×評価できない

V. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける建設リサイクル法・産業廃棄物処理法等の環境関連法規等について、遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反訴訟などの指摘も過去3年間ありませんでした。

環境関連法規則（環境法規則等遵守チェックリストより抜粋）

法 規 制	要求事項	確認	遵守状況
建設リサイクル法	・対象建設工事の届出	届出書	○
	・発注者に書面による工事計画等の説明	説明書	○
廃棄物処理法	・産業廃棄物収集運搬の適正処理	処理委託契約書	○
	・産業廃棄物処分の適正処理	処理委託契約書	○
	・産業廃棄物処理計画書の提出、報告書の提出	処理計画書	○
	・保管基準	保管施設確認	○
	・マニフェスト交付	マニフェスト確認	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	管理票交付等状況報告書	○
大気汚染防止法	・ばい煙発生施設の届出、測定、記録		
	・一般粉じん発生施設・作業の取組、基準遵守		
	・特定粉じん発生施設・作業の取組、基準遵守		
フロン排出抑制法	・管理する第一種特定製品の設置環境・使用環境の維持保全		
	・簡易点検・定期点検の実施		○
	・漏えい防止措置、未修理の第一種特定製品への充填の原則禁止		
	・点検・整備の記録作成・保存		○
消防法（条例）	・少量危険物の届出	届出書	
	・貯蔵所や取扱所の基準遵守	保管状況確認	○

VI. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21は、H30年7月から取り組みを始め、3回目の更新をむかえました。

昨年は活動の見直しをかけ、「数値の見える化」を図り削減努力をすることとしましたが過去2年間の豪雪の余波と遠方での工事等が多く実際に取り組むことができませんでした。

電気使用量は前年の96%、軽油・ガソリン等の燃料は110%と大幅な増となりました。

外部からの苦情等はありませんでした。

工事の種類により重機の稼働方法が異なりますが、全社的に効率化を図る対策が急務となりました。

削減目標に向かって全社員一丸となって環境保全活動に取り組んでいきます。

環境活動の取組状況



* 除雪工区内における清掃活動

* 水辺サポータ



* 東中学校通学路草刈り奉仕活動



* 熱中症対策

* 現場事務所資源リサイクル活動

常海橋銀線交付金工事現場事務所



夏泊公園線交付金工事現場事務所



*** 緑十字安全朝礼**



*** 安全祈願及及び永年勤続表彰**



*** 福岡への社内旅行
及び社員慰労会**



*** 社内健康測定**



*** インターンシップ(工業高校生徒)**



*** 安全推進協議会**



*** テールゲートリフター特別教育**



*** 社内安全パトロール**



*** 県土整備部長表彰受賞**

3・5・4号堤町通り浜田線道路改築工事

